



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社ダイイチ

コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務兼企画IR担当

(氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	27,198	5.7	863	10.0	852	11.0	509	4.6
26年9月期第3四半期	25,729	6.5	785	7.6	768	9.6	487	12.5

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 526百万円 (7.6%) 26年9月期第3四半期 489百万円 (8.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	89.21	—
26年9月期第3四半期	85.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年9月期第3四半期	16,625	—	8,526	—	51.3	1,492.37
26年9月期	15,991	—	8,085	—	50.6	1,415.15

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 8,526百万円 26年9月期 8,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,762	3.7	1,083	3.4	1,050	2.6	651	3.6	113.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年9月期3Q	5,719,320 株	26年9月期	5,719,320 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年9月期3Q	5,946 株	26年9月期	5,946 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	5,713,374 株	26年9月期3Q	5,713,386 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策により、企業収益や雇用環境に改善が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方で、消費税増税後の個人消費低迷の長期化や円安による原材料価格の高騰などから、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ（当社及び連結子会社）を取り巻くスーパーマーケット業界は、実質賃金の減少による消費者の節約志向と低価格志向の継続、仕入コストや電力料金の上昇、業態を超えた価格競争の激化などにより、厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもとで当社グループは、食品を中心に地域に密着したスーパーマーケットとして、お客様からの高い支持と信頼をいただけるよう、新鮮かつ安心して安全な商品の提供に努めるとともに、お客様の要望にお応えする商品の提案、値ごろ感を重視した価格政策、従業員教育の充実によるサービスレベルの向上などにより、店舗における営業力の強化に取り組んでおります。

株式会社イトーヨーカ堂との業務提携につきましては、生鮮を中心とした、北海道エリアにおける同社との商品開発及び物流システムの構築、それによる高品質商品の追求とコスト削減を徹底し、お客様に満足していただける店作りを努めております。

お客様へのサービス向上の一環として、既に旭川ブロックにて稼働しているポイントカード「フレカ」を、平成26年10月に「清田店（札幌ブロック）」及び「音更店（帯広ブロック）」に導入、平成27年4月にその他の店舗に導入し、全店舗での利用が可能となりました。また、平成27年2月より全店において、電子マネー「nanaco（ナナコ）」カードの利用が可能となり、併せてチャージ機を設置いたしました。

店舗の状況につきましては、平成27年4月、恵庭市恵み野の大型複合商業施設内の核店舗として「恵み野店（札幌ブロック）」を新規出店し、お客様の買い物環境の充実と満足度の向上に努めております。既存店強化策としては、平成27年3月に「東旭川店（旭川ブロック）」、6月に「めむろ店（帯広ブロック）」の売場の増床リニューアルを実施いたしました。また、省電力化の取り組みとして、「啓北店（帯広ブロック）」と「オーケー店（帯広ブロック）」において、LED照明への切り替え及び空調設備・冷凍機の更新を行いました。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは123億26百万円（前年同期比3.7%増）、旭川ブロックは81億50百万円（前年同期比3.6%増）、札幌ブロックは67億15百万円（前年同期比12.5%増）となりました。また、既存店売上高につきましては、3月の消費税増税前の駆け込み需要の反動減、「東旭川店」及び「めむろ店」の改装に伴う一時休業がありました。販売力の強化による競争力の向上とおお客様の視点に立った強い店作りの推進などにより、前年同期比2.3%増と順調に推移いたしました。

売上総利益率につきましては、業種・業態を越えて価格競争が激化する中で、商品本部機能の見直しによる商品力の強化、ロスの削減と仕入の見直しなどにより、23.9%となりました。

引き続き当社グループは、同業他社のみならず異業種も念頭に据えた企業間競争に耐えうる強い企業体質の実現に取り組み、業容の拡大と更なる企業価値の向上に努めてまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は271億98百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は8億63百万円（前年同期比10.0%増）、経常利益は8億52百万円（前年同期比11.0%増）、四半期純利益は5億9百万円（前年同期比4.6%増）となり、各数値は前年同期に比べ増加いたしました。また、1株当たり四半期純利益は89円21銭（前年同期85円29銭）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6億34百万円増加の166億25百万円となりました。流動資産においては、主に売掛金の増加1億41百万円等に対し、現金及び預金の減少3億67百万円及びその他の減少96百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億90百万円減少の31億85百万円となりました。固定資産においては、建物の増加3億74百万円、有形固定資産のその他の増加3億36百万円及び投資その他の資産のその他の増加2億48百万円等に対し、敷金及び保証金の減少32百万円等により、前連結会計年度末に比べ9億24百万円増加の134億39百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加の80億99百万円となりました。流動負債においては、主にその他の増加3億13百万円及び買掛金の増加1億21百万円等に対し、未払法人税等の減少67百万円及び1年内返済予定の長期借入金の減少25百万円等により、前連結会計年度末に比べ3億65百万円増加の46億円となりました。固定負債においては、その他の増加2億76百万円等に対し、長期借入金の減少4億60百万円により、前連結会計年度末に比べ1億72百万円減少の34億98百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4億41百万円増加の85億26百万円となりました。これは主に、利益剰余金4億23百万円の増加によるものです。この結果、自己資本比率は51.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年11月5日の「平成26年9月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,865,243	1,497,481
売掛金	217,905	359,812
商品及び製品	961,639	994,424
原材料及び貯蔵品	3,944	3,229
その他	428,763	332,291
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	3,475,996	3,185,739
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,744,005	4,118,705
土地	5,672,860	5,669,137
その他（純額）	787,723	1,124,657
有形固定資産合計	10,204,589	10,912,501
無形固定資産		
その他	14,512	14,512
無形固定資産合計	14,512	14,512
投資その他の資産		
敷金及び保証金	917,263	884,813
その他	1,379,215	1,628,076
投資その他の資産合計	2,296,479	2,512,889
固定資産合計	12,515,580	13,439,903
資産合計	15,991,577	16,625,643
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,057,365	2,179,202
1年内返済予定の長期借入金	641,214	616,064
未払法人税等	224,452	156,923
賞与引当金	136,857	159,847
その他	1,174,932	1,488,242
流動負債合計	4,234,822	4,600,280
固定負債		
長期借入金	1,977,377	1,516,929
役員退職慰労引当金	191,076	194,650
退職給付に係る負債	525,826	533,874
資産除去債務	15,775	15,927
その他	961,418	1,237,539
固定負債合計	3,671,473	3,498,921
負債合計	7,906,296	8,099,201

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,639,253	1,639,253
資本剰余金	1,566,100	1,566,100
利益剰余金	4,870,109	5,294,091
自己株式	△2,857	△2,857
株主資本合計	8,072,605	8,496,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,675	29,853
その他の包括利益累計額合計	12,675	29,853
純資産合計	8,085,281	8,526,441
負債純資産合計	15,991,577	16,625,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	25,729,665	27,198,354
売上原価	19,588,769	20,701,576
売上総利益	6,140,895	6,496,778
営業収入	388,477	402,431
営業総利益	6,529,372	6,899,210
販売費及び一般管理費	5,744,133	6,035,242
営業利益	785,239	863,967
営業外収益		
受取利息	9,759	9,635
受取配当金	5,104	2,099
その他	4,745	5,066
営業外収益合計	19,609	16,801
営業外費用		
支払利息	35,438	27,416
その他	1,395	813
営業外費用合計	36,833	28,230
経常利益	768,015	852,538
特別利益		
固定資産売却益	7,339	—
国庫補助金	10,870	—
特別利益合計	18,209	—
特別損失		
固定資産除却損	—	26,026
減損損失	—	4,845
固定資産圧縮損	10,870	—
特別損失合計	10,870	30,872
税金等調整前四半期純利益	775,355	821,666
法人税、住民税及び事業税	274,619	307,287
法人税等調整額	13,441	4,696
法人税等合計	288,060	311,983
少数株主損益調整前四半期純利益	487,294	509,682
四半期純利益	487,294	509,682

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	487,294	509,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,511	17,177
その他の包括利益合計	2,511	17,177
四半期包括利益	489,805	526,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	489,805	526,860
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループ（当社及び連結子会社）は、食料品主体のスーパーマーケット事業及びこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。